

令和4年度第3回林野庁入札等監視委員会 審議概要

開催日及び場所		令和4年12月20日(火曜日)林野庁入札室			
委員		佐々木 直彦(公認会計士、税理士) 菅 沼 真(弁護士) 近 田 直 裕(公認会計士、税理士)			
審議対象期間		令和4年7月1日～令和4年9月30日			
審議対象案件		33件	うち、1者応札案件 23件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 2件		
抽出案件		4件 (抽出率 12%)	うち、1者応札案件 2件 (抽出率 9%) 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件 (抽出率 3%)		
抽出 案件 内訳	工事	一般競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		指名競争	公募型指名競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			工事希望型競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の指名競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			随意契約	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
	業務	一般競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		指名競争	公募型競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			簡易公募型競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の指名競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
		随意契約	公募型プロポーザル	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			簡易公募型プロポーザル	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			標準型プロポーザル	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
			その他の随意契約	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件
	物品・ 役務等	一般競争	3件	うち、1者応札案件 2件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		指名競争	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
		随意契約(企画競争・公募)	1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件	
随意契約(その他)		1件	うち、1者応札案件 1件 契約の相手方が公益社団法人等の案件 1件		
(特記事項) ・抽出の4件については、落札率の高かった契約等を抽出した。					
委員からの意見・質問、それに対する回答等		意見・質問			
		回答等			
		(詳細に記述すること。)	(詳細に記述すること。)		
		(別紙のとおり)	(別紙のとおり)		
委員会による意見の具申又は勧告の内容		該当なし			
[これらに対し部局長が講じた措置]		□ □			

事務局: 林野庁林政部林政課会計経理第1班

(注)公益社団法人等とは、公益社団法人又は公益財団法人(一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律第42条第1項に規定する特例社団法人又は特例財団法人を含む。)をいう。

	意見・質問	回 答
<p>委員からの意見 ・質問、それに対する回答等</p>	<p>抽出契約について 〔抽出番号1：令和4年度埋設農薬の掘削処理に関する事業〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1者応札ですが、ほかに対応できた業者はいなかったのでしょうか。 ・今年度3か所ですが、来年度以降、掘削処理の予定はどのように考えていますか。 ・1番ポイントになる難しいところはどこでしょうか。 <p>〔抽出番号2：令和4年度耐久性のある森林作業道及び集材路等の作設手法の確立に向けた調査〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・予定価格よりかなり低い金額で落札しているようですが、なにか理由は考えられますか。 ・応札者が2者しかいないことをどのように考えられていますか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・埋設農薬を扱っている業者は多いですが、有効成分が245Tの農薬を扱ったことがある業者がないため、なかなか参加する業者がいなかったと推察します。 ・来年は1か所追加して4か所を行う予定で、今回のノウハウを生かしながら、全国46か所すべての箇所撤去を念頭に取り組む予定です。 ・(245Tに含まれる)ダイオキシン類が掘削することで飛散しないように、仮設工で簡易テントを設置してその中で作業を行い、テント内で飛散したダイオキシン類もフィルターで回収することによって環境に影響がないように行い、掘った土もこぼすことなく処理施設にもっていくことです。 ・落札事業者は、林野庁の業務をこれまで行っておらず、実績も欲しかったこともあり、入札にあたって、技術点で苦戦することが予想されることから、価格で頑張ったというように聞いています。 ・幅広い方に応札してもらうのが良いのですが、林業という特殊性が応札者の少ない原因になっているの

・事業はすでに開始していますか。支障なく進んでいますか。

〔抽出番号3：令和4年度山地保全調査(保安林整備と併せて筋工等が設置された森林における浸透能の把握に関する調査)〕

・前年度2者から今年度1者に減ったのは、入札条件を厳しくした等、何か事情がありますか。

・今後も継続していく場合、一者応札を改善する手段は考えていますか。

・この事業は規模的にすごく大きなものではないと思いますが、調査するための作業のノウハウが必要なため、応札者が少ないということでしょうか。

〔抽出番号4：令和4年度森林情報の高度化推進に向けた条件整備等に関する調査委託事業〕

・企画提案をした事業者は何者でしたか。また、こちらを選定した経緯を教えてください。

ではないかと思っています。

・始まっています。仕様書に準じて、不慣れなところは担当者がフォローしながら取り組んでおり、致命的なものはございません。いい成果が出るように頑張らせていただいています。

・事業内容を昨年度より専門性の高いものに絞ったため、昨年度応札された事業者が参加を見送ったのではないかと考えます。

・事業内容を変えることはできませんので、入札公告の期間を長くするなど、ほかの事業を参考に検討していきたいと思っています。

・はい。全国的にこのような調査がされているわけではないと思っていますので、同様の調査の経験がある業者が少ないと思います。

・2者です。企画検討会において、データ収集については同程度でしたが、本筋の収穫表の検討については、専門的な知見が必要であり、受託事業者の方が実績、経験が豊富であり、効果的に事業を実施できる体制があると判断して、決定しました。

・資料に、広く企画提案を募集し、内容及び業務遂行能力の高い者を選定するとあり、理想とすれば、もっと多くの事業者に応募してもらう必要があると思いますが、2者だけだったのをどのように考えていますか。

・収穫表、成長量など、昭和50年代の収穫表では高齢級の標本数が少なかったため、実際との乖離を埋めるための調査ということでしょうか

その他

・委員会としての意見はなし。

・専門的な部分が多く、そのため応募者が少なかったのではないかと思っています。

・その通りです。